

第4学年〇組 道徳科学習指導案

平成〇年〇月〇日 〇曜日 第〇時

指導者 〇 〇 〇 〇

1 主 題 名 自分で考えて、よりよい行動を A 節度、節制

2 本時のねらい

- 「ぼく」の行動について考えることを通して、自分自身で考えて、節度ある行動をしようとする態度を養う。

3 準備・教材

- 教材名「いっしょになって、わらっちゃだめだ」 出典「新しい道徳」（東京書籍）
- 教師・・・「ぼく」の挿絵、場面絵（はじめにみのるがゆうじをからかう場面、次の日の朝にみのるたちがゆうじをからかう場面、「ぼく」が教室を出ていく場面）、ワークシート

4 関 連

道徳 「目ざまし時計」（自分でできることは自分で）

5 学習指導過程

段階	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項
方 向 付 け	1 価値への方向付けをする。 ○ してはいけないとわかっているけど、度が過ぎて失敗してしまったことは、どんなことですか。 ・ おなかがすいていたからといって食べ過ぎておなかが痛くなってしまった。 ・ 家に帰る約束の時刻に十分間に合うと思って遊んでいたから、遅れてしまった。	3	○ 失敗してしまった後、どんなことを思ったかについても問うようにする。 ○ 本時で取り上げる価値と関わりのある発言を取り上げるようにする。 ○ 他者の迷惑につながることに触れるようにする。
価 値	2 本教材を読み、話し合う。		○ 教材を読み終えた後、「ぼく」の挿絵と3つの場面絵を黒板に掲示する。 ○ 教材の内容が十分に把握できていない児童が多い場合は、大きく3つの場面があることを確認する。 ○ 「ぼく」の行動について一通り発言が出た後、3つの場面ごとに意見を聞くようにする。
の 追 求	「ぼく」の行動について、どんなことを思いますか。 ・ ゆうじは本当にサルみたいだな。 ・ はじめ、サルとからかわれてものまねをしたゆうじを止められるとよかった。 ・ このままからかっているでもいいのかな。 ・ 次の日の朝、ゆうじをからかっているときに「ぼく」は何もできなかったが、からかっているのを止めさせるべきだった。 ・ みのると目が合ったときに、教室を出ていくことができたことはよかった。 ・ みのると目が合ったときに、教室を出		○ 発言を①はじめにからかった場面、②次の日の朝、③「ぼく」が教室を出た場面に分けながら板書する。 ○ 初めにからかわれたとき、ゆうじは、明るくふるまっていることを押さえ、その時の「ぼく」の行動について触れるようにする。 ○ ゆうじに対するからかいが「次の日」まで続いていることについて「ぼく」がどう思っているかについて考えさせる。

把 握	ていくのではなく、「いじめはいけない」と言えるとよかった。	18	
	なぜ「ぼく」は、教室を出ていったのでしょうか。		
振 り 返 り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆうじがいやがっていたから。</li> <li>・からかいすぎて止めようと思ったから。</li> <li>・本人がいやがっていなくても、からかっている人がいたら止めるようにするため。</li> <li>・自分が止めれば他の人も止めると思ったから。</li> <li>・からかうことはいけないことなので、止めさせたかったから。</li> </ul>	33	<ul style="list-style-type: none"> <li>○はじめに、ゆうじがからかわれたときに、一瞬顔が暗くなりながらも明るくふるまったことを確認する。</li> <li>○単に「からかってはいけない」のではなく、相手の気持ちを考えて行動することが大切であることについて考えさせる。</li> </ul> <p><b>補</b>「ぼく」が黙って出ていったとき、どんな気持ちだったでしょう。</p> <p><b>評</b>「ぼく」の行動から、からかいすぎて相手をいやな気持ちにさせていないか考えている。(発表)</p>
	3 これからの生活について考え、発表する。		
ま と め	今回の学習を振り返って感想を書こう。		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話をしているときに、相手のことをよく見て、いやな気持ちをさせないようにしようと思った。</li> <li>・他の人と遊んでいるときに、自分のことばかり考えて調子に乗りすぎずに、仲良くしたい。</li> </ul>	42	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日頃の自分の生活を思い起こさせてから、ワークシートに書かせるようにする。</li> <li>○今後の生活で身近な人にどのように接したいかを考えさせる。</li> </ul> <p><b>評</b>節度ある行動をしようとするときの気持ちについて考えている。(ワークシート、発表)</p>
	4 教師の説話を聞く。	45	<ul style="list-style-type: none"> <li>○度を過ぎさずに行動して、周りの人に迷惑をかけずに済んだり、いやな気持ちにさせずに済んだりした経験を話す。</li> </ul>

## 6 本時の評価

- 相手の言動を見て、節度ある生活をする事の大切さについて考えている。

(発表, ワークシート)

## 7 板書計画

<p><b>感想</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手のことをよく見て、調子に乗りすぎず。</li> </ul>	<p>なぜ「ぼく」は、教室を出ていったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆうじがいやがっていたから。</li> <li>・からかいすぎてやめようと思ったから。</li> <li>・本人がいやがっていなくても、からかっている人がいたら止めるようにするため。</li> <li>・自分がやめれば他の人もやめると思ったから。</li> <li>・からかうことはいけないことなので、やめさせたかったから。</li> </ul>	「ぼく」の行動について			<p><b>自分で考えて、よりよい行動を</b></p>
		<p><b>「ぼく」が教室を出た場面</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室を出ていくことができたことよかったです。</li> <li>・「いじめはいけない」と言えるとよかった。</li> </ul>	<p><b>次の日の朝</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・このままからかってもいいのかな。</li> <li>・からかっているのをやめさせるべきだった。</li> </ul>	<p><b>はじめにからかった場面</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本当にサルミたいだな。</li> <li>・ゆうじを止められるとよかった。</li> </ul>	